

「法学部」が面白いほどよくわかる ——高校生が進路を考え始めたら

法学部で学ぼうプロジェクト 編

担当編集から

本誌をお読みの皆さんの中には、「法学部生」または「法学部を卒業した方」も多いと思います。法学部生として初めて法学に触れたとき、どんな印象を持ちましたか？ 高校生の頃にイメージしていたものと違ったり、暗記だけでなく解釈や議論をする機会が多くて楽しかったなど、それぞれの印象があったと思います。また、社会に出た後、法学部で良かった、法学の学習が役に立ったなどと感じる方も多いのではないでしょうか。

本書は、進路を考える高校生に向けた法学「部」の入門書です。法学部の教員や現役学生から法学の面白さや楽しさ・社会的意義を伝えるのはもちろん、社会で活躍する先輩方のインタビューも多く掲載し、法学部卒業後の幅広い進路先の紹介も行っています（法学部に入りたての方も、進路の参考になると思います）。

また、漫画形式で本書の流れやポイントを紹介したり、YouTube動画と連動して法学部の模擬授業を受けられるなど、高校生が親しみやすい工夫も施しておりますので、ご家族や後輩など、法学部に興味がありそうな方がいらっしゃれば是非ご推薦ください！（菅野）

Point

カラーの誌面で、法学部の面白さ・楽しさが分かる！



004

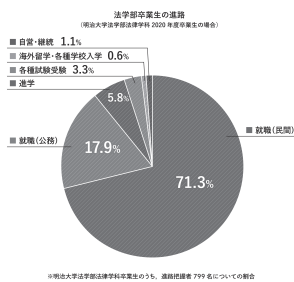


-対象-

一般

2022年3月発売 / 128頁 / 定価990円(税込)
B5判 / 並製

実際、法学部卒業後はどこへ進む？



実際の法学部卒業後の進路は？

○法学関係の道へ進む法学部生は意外と少数か？

全国の大学として、明治大学法学部のアンケート(2020年度卒業生の進路調査) 799名を対象)を参考にしてみましょう。卒業生の中で(民間企業)へ進む法学部生は多く71.3%で、(公務)に就く法学部生が17.9%となっています。弁護士や裁判官等の資格を得る道に進む法学部生は約5.8%です。また、進学(大学院へ進む)や海外留学・各種学校入学(約4.4%)など、法学部卒業後の進路についてさまざまなイメージをお持ちかもしれませんが、法学部の卒業後の進路は意外と多岐にわたっています。次のページでは、就職後の進路について見てみましょう。

で、実際に進路調査を目標とする割合はさらに高いことが分かります。

○全国の大学で同じような傾向
今回一併して明治大学法学部のアンケートをとりまとめ、他の大学でも、進路の進め方・進路によって多少の差はあるものの、似たような傾向にあるとです(詳しくは各大学のWebサイトなどで確認ください)。進路のみなさんは、法学部卒業後の進路についてどのようなイメージをお持ちでしたか？ 法学部の卒業後の進路は意外と多岐にわたっています。次のページでは、就職後の進路について見てみましょう。

015

誌面は制作中のものです。実際の誌面と異なる場合がありますのでご注意ください。特設ページを公開中、アクセスは右QRコードから。

